

令和 8 年度 第 1 回 滋賀県渋滞対策協議会

地域WGの開催結果報告

令和8年9月3日(木)

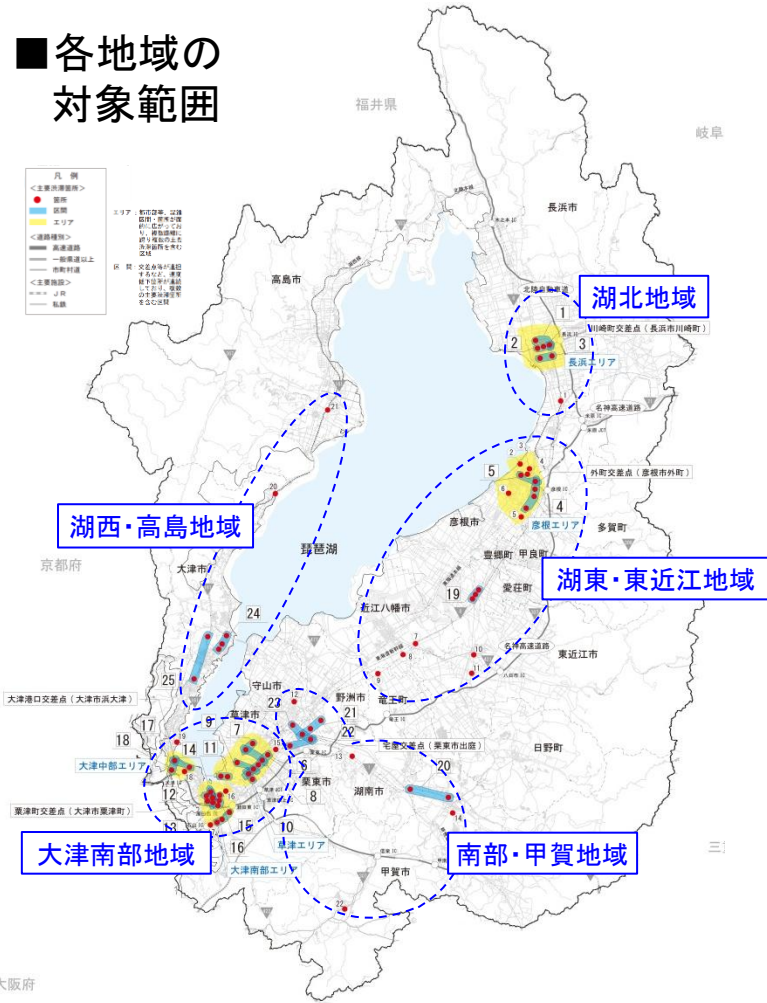
1. 令和7年度の実施概要

- 各地域の交通状況にフォーカスすることで効果的な対策の立案に繋げることを目的として、地域WGを開催。
- 大津南部地域、南部甲賀地域においては、R5年度以降、継続的に地域WGを開催し、現状課題や対策方針等について協議。

■地域WG開催概要・全体スケジュール

地域	概要	R5	R6	R7	R8
大津南部地域	・滋賀県内で主要渋滞箇所及び対策検討中箇所が最も多く対策必要性が高いため、 令和5年度にWGを設置 。				
南部・甲賀地域	・混雑度が管内他路線に比べて高い値を示している栗東水口道路等の渋滞対策推進を図るため、 令和6年度にWGを設置 。	準備			
湖西・高島地域	・湖北バイパスの整備及び湖西道路の整備、小松拡幅の整備の進捗を踏まえて、必要に応じてワーキンググループの設置を想定。	必要に応じて設置を検討			
湖東・東近江地域	・大津南部地域に次いで主要渋滞箇所が多い。大津南部や南部・甲賀地域での検討状況を踏まえつつワーキンググループを開催することを想定。	必要に応じて開催			
湖北地域	・塩津バイパスの現道拡幅や米原バイパスの整理等の進捗を踏まえて、必要に応じてワーキンググループの設置を想定。	必要に応じて設置を検討			

■各地域の対象範囲



出典：滋賀国道事務所HP

2. 大津南部WGの開催結果

- 令和8年度第1回大津南部地域WG(R8.8.28)では、栗東水口道路 I・大津能登川長浜線(山手幹線)開通6ヶ月後(R8年2月)の交通状況(交通量・速度)について情報共有を行った。
- 引き続き、国道1号と大津能登川長浜線を接続するラダー道路(学園通り、かがやき通り、平野草津線等)などのモニタリングを継続するとともに、従前からのピンポイント対策などの渋滞対策を検討していくこととなった。

■ 令和8年度第1回大津南部地域WGの開催結果概要

開催日時	令和8年8月28日(金) 10:00～12:00	
開催場所	滋賀国道事務所 3F 大会議室	
議事	開催の様子 (1)大津南部地域WGの開催状況 (2)栗東水口 I・大津能登川長浜線(山手幹線)開通後の交通状況把握 (3)栗東水口 I・大津能登川長浜線(山手幹線)開通後の対策案 (4)今後の進め方について	
出席者	○滋賀国道事務所 ○滋賀県県土整備部道路整備課 ○滋賀県県土整備部道路保全課 ○滋賀県大津土木事務所 ○滋賀県南部土木事務所 ○滋賀県警察本部交通規制課 ○大津市建設部 ○草津市建設部 ○草津市都市計画部	
議事要旨	栗東水口道路 I・大津能登川長浜線(山手幹線)開通6ヶ月後の交通状況・課題等について情報共有や意見照会を行った。主な内容は次のとおり。 ・ 栗東水口道路 I・大津能登川長浜線(山手幹線)開通後6ヶ月後(R8年2月)の交通量調査結果やETC2.0データ等による分析結果を確認した。国道1号から栗東水口道路 I・大津能登川長浜線(山手幹線)への交通転換が徐々に進展するなか、国道1号と大津能登川長浜線を接続するラダー道路(学園通り、かがやき通り、平野草津線等)の開通前後で速度状況に大きな変化がないことを確認。引き続き、開通1年後の速度状況等をモニタリングしていくこととなった。 ・ 従前からの、主要渋滞箇所(新浜町、新浜町西、唐橋西詰交差点等)におけるピンポイント対策などの渋滞対策案について意見交換を行い、検討していくこととなった。	

3. 南部甲賀WGの開催結果

- 令和8年度第1回南部甲賀地域WG(R8.8.31開催)では、栗東水口道路周辺の交通状況・課題に対する検討など、について協議を行った。
- 令和7年8月の栗東水口道路Ⅰ・大津能登川長浜線(山手幹線)開通後の交通状況より、国道1号岩根交差点周辺については依然として課題があることが確認され、短中期対策として「付加車線設置」の検討や、引き続き「TDM施策(時差出勤促進)」を実施していくこととなった。
- 引き続きGWの甲賀市国道307号周辺の観光渋滞対策として、公共交通やパーク＆ライドの利用促進を図る情報提供等を行う予定となった。

■ 令和8年度第1回南部甲賀地域WGの開催結果概要

開催日時	令和8年8月31日(月)13:00～14:30
開催場所	滋賀国道事務所 3F 大会議室
議事	(1)南部甲賀地域WGの開催状況 (2)栗東水口道路周辺の交通状況・課題 (3)時差出勤促進の実施状況 (4)GWの観光渋滞対策 (5)今後の進め方について
出席者	○滋賀国道事務所 ○滋賀県県土整備部道路整備課 ○滋賀県県土整備部道路保全課 ○滋賀県県土整備部甲賀土木事務所 ○滋賀県警察本部交通規制課 ○湖南市都市建設部 ○甲賀市建設部 ○立命館大学 塩見教授(アドバイザー)
議事要旨	栗東水口道路周辺の交通状況・課題と対策方針などについて、情報共有や意見照会を行った。 主な内容は次のとおり。 ・国道1号岩根交差点周辺については、栗東水口道路Ⅱの4車線化に先立つ短中期対策として、学識者にも意見を伺い「付加車線設置」により交通容量の拡大を図る方針を確認し、区間等の具体化を検討すること、また、昨年度に引き続き「TDM施策(時差出勤促進)」の広報活動を実施することを報告した。 ・引き続きGWの甲賀市国道307号周辺の観光渋滞対策として、公共交通やパーク＆ライドの利用促進を図る情報提供等を行う予定となった。



3. 南部甲賀WGの開催結果

- 東行きは「岩根交差点」、西行きは「岩根西交差点」をボトルネックとする渋滞が発生しており、渋滞緩和には交通容量の拡大が必要である。
- このため、短中期対策として「付加車線の設置」を計画し、交通状況や道路構造条件等を踏まえつつ、設置区間等の具体化に向けた検討を進める。
- あわせて、交通需要の分散を図るため、「TDM施策(時差出勤の促進)」を継続して実施する。



付加車線設置イメージ

➡岩根交差点～岩根西交差点間の渋滞緩和に向け、「付加車線の設置」を計画し、設置区間等の具体化に向けた検討を進める。

